

(2) 調停会議経過

S 14.6.1 - 4

121

REEL No. A-0487

0286

アジア歴史資料センター

外機密

「タイ」佛印調停會議條約交渉(一)

三月十四日(金)午前十時 大臣官邸ニ於テ

調停國側 松宮大使、松本條約局長、齋藤南洋局長、西村係一課

長、佐藤係二課長、東光南二課長、芳賀事務官、浦部

通譯官

「タイ」國側 「ワンワイ」、「セナ」、「サストラコン」三全權以

下隨員

佛國側 「アンリール」、「ロバン」兩全權以下隨員

先ツ松宮大使ヨリ兩當事國全權ニ條約案(佛文)ヲ手交別紙「條約案ノ概説ニ依リ其ノ趣旨ヲ説明シ三國専門家ヨリ成ル小委員會ヲ設置シテ同條約案ヲ審議センコトヲ諮リタル處「ワンワイ」全權ハ調停國タル日本側専門家ノ参加ニ異議ナキ旨ヲ述ベタルモ佛側特ニ「ロバン」全權ハ調停國ノ使命ハ調停成立ト同時ニ終了シタル旨ニテ條約交渉ハ當事國間限リニテ行フベキナリト強硬ニ反對シタルガ一

2

「アンリール」全權ハ當事國間ニテ交渉ヲ行ヒ其ノ結果ヲ隨時日本側ニ通報セバ十分ナルベク但シ日本側ノ参加ヲ全然排除スルモノニ非ザレバ必要ト認ムルトキハ例ヘバ松本局長ノ出席ヲ求ムルコトアルベシト主張シタルニ依リ我方トシテモ強テ固執セズ原則トシテ兩者間直接ノ話合ニ委スコトニ同意セリ

尙案文ノ審議ハ「ワラワン」(専門家タル資格ニ於テ)「ゴーチエ」間ニ適宜行フコトニ決セルガ散會後兩者ヨリ松本局長ニ對シ同日午後三時ヨリ帝國「ホテル」ニ於テ第一回會合ヲ行ヒ度キ處出席希望ナリヤ否ヤ問合アリタルヲ以テ同局長ヨリ出席方ヲ約シタリ

條約案ノ概説

條約案ハ過日假署名シタル調停條項ヲ條約ノ形式ニ書キタルモノナリ。從テ同條項ニ定メラレタル基本的事項ノミニ付規定シ、之ニ關聯スル細目又ハ技術的問題ハ概ネ別ニ兩國間ニ直ニ商議ヲ開始シ協定ヲ遂クベキ旨ヲ明ニスルニ止メタリ。

條約ノ構造ヲ概説スレバ

先ツ佛印泰間ノ友好關係ノ恢復ヲ聲明シ(第一條)

次ニ新國境線ヲ規定シ(第二條)、次ニ割讓地帯ニ關スル特別條項

即チ非武装、平等待遇、「ルアン、ブラバン」對岸三角地帯、「メ

コン」河上ノ二島ニ關シ調停條項ノ規定ヲ殆ド其ノ儘掲ゲ(第四條)

次ニ領土割讓ニ伴フ住民ノ國籍變更、移住、財産ノ移轉ニ付原則ヲ

定メ(第五條)、財政問題ニ付テハ一括支拂ノ原則ニ依リ解決方兩

國政府間ニ交渉スベキ旨ヲ明ニスルニ止メタリ(第六條)

次ニ國境地帯ニ於ケル靜謐維持ノ方法トシテ國境非武装地帯ノ設置

ヲ豫見シ(第七條)、之ニ次ギ割讓地帯ニ於ケル非武装ト國境地帯ノ非武装トニ共通スル非武装ノ條件ヲ規定シタルガ(第八條)其ノ内容ハ千九百二十六年ノ佛泰條約ノ非武装ノ條件ト殆ド同一ナルコトヲ特ニ指摘シタシ。

次ニ國境劃定ノ爲混合委員會ノ設置(第九條)、本條約ニ關シテ發

生スベキ紛争ノ解決方法(第十條)、本條約ト現存條約トノ關係(

第十一條)、用語(第十二條)、批准及實施(第十三條)ヲ規定シ

タリ

以上ハ條約案ノ大体ノ構造ナルガ條約ノ外ニ尙議定書三箇アリ。

一ハ割讓地帯ノ撤退ト引渡ノ体様ヲ明定スルモノナリ。

二ハ非武装地帯ノ監督委員會ノ構成ト選任トヲ定ム。

三ハ國境劃定委員會ノ構成ト選任トヲ定ム。

以上ノ文書ハ佛泰間ニ署名セラレベキモノナルガ、最後ノ二文書ハ

日本側モ委員會ノ事業ニ參加スル關係上日本側モ署名スベキモノナ

リ。  
上述ノ條約案及議定書案ハ佛泰間ノ討議ノ基礎トシテ使用スル爲日  
本側ニテ作成シ兩國代表團ニ提供スルモノナリ。尤モ其ノ内、非武  
裝ノ監督ト國境劃定トニ對スル日本側ノ協力並ニ條約ニ關聯スル紛  
争ニ對スル日本側ノ調停ハ帝國トシテ關心ヲ有スル所ニシテ此ノ種  
ノ規定ハ是非共作成セラルル條約ニ挿入セラレンコトヲ望ムモノナ  
リ。

6  
三月十四日(金)午後三時一五時半帝國「ホテル」ニ於テ「ワラワ  
ン」、「タウエチクン」、「ゴーチエ」、松本局長間ニ懇談ヲ行ヒ  
タリ右懇談ニ於テ我方提示ノ條約案ヲ討議ノ基礎案トスルコトニ意  
見一致シ直ニ同案ヲ通讀シタルガ其ノ結果左ノ如シ  
表題 *La tranquillité* ヲ省キ(但シ前文中ニ殘スコトニハ異議ナシ)  
*l'ajustement* *et le rajustement* ト改ム  
前文 *procéder à un certain ajustement et procéder au rajustement* ト改ム  
第一條 *seront rétablies et sont rétablies* ト改ム  
「ゴーチエ」ヨリ同條文ニ佛「タイ」不可侵協定批准書交  
換ニ付規定方主張シタルモ「ワンワイ」ヨリ右ニ關シテハ  
別個ニ考慮スベキ旨答ヘタリ)  
第二條 「ゴーチエ」ヨリ一及二ノ表現ニ關シテハ佛印專家ノ到  
著ヲ待チテ決定シタシト述ブ

「グラン、ラック」ノ中立化ニ關シテハ困難ナル問題アリ  
双方共請訓ノ要アリトス、「ワンワイ」ヨリ國境線ノ同湖  
ニ接スル點ヲ直線ニテ結ブコトニ異議ナキモ漁業權ニ付沿  
岸任氏ノ待遇ヲ認メラレタキ旨希望ヲ述フthalweg ノ原  
則ニ異議ナシ

第三條

seront arrêtées à part par consultation entre les deux Gouvernements  
ヲ seront arrêtées au Protocole annexé à la présente Conven- tion  
tion

旨ニ書キ改ム

第四條

二ノ fournir,....., le traité- ヲ fournir,....., d'un traitement  
ト訂正シ cette paragraphe 此條 dispositionヲ改ム  
三ニ關シテハ案文起草ニ付更ニ研究ヲ要ス  
四ノ共同管理ニ關シテハ双方共誤解アリタルコトヲ卒直ニ  
認メ實際問題トシテ極メテ困難ナルヲ以テ本件共同管理ニ  
付テハ再検討ヲ要ス

第五條 列舉事項ノ他現在流通中ノ紙幣、未納ノ税金、「パン  
パン」ニ於ケル放棄銀行ノ資金等種々研究ヲ要スル事項ア  
ルモ趣旨ニハ異存ナシ

第六條

鐵道、公共建造物ノ評價ハ容易ナラズ請訓ノ上研究ス

第七條

非武装地帯設置ニ關シ「ゴーチエ」ハ日本側ヨリ右設置ヲ  
勸告セラレタルモ概略ニ於テハ之ニ關シ何等ノ約束ヲモ與  
ヘタルコトナシト強ク反對シタルカ給局請訓ノ上如何ナル  
程度迄之ヲ容レ得ルヤヲ決スルコトナレリ

第九條

國境鎮定事業中障壁ニ付テ「メコン」河ト別個ニ行フ必  
要アルヲ以テ小委員會ニ付設法スルコトナルベシ候フ  
案文モ Les travaux..... seront effectués tant sur la frontière  
terrestre que sur le Mékong 之

又末項ノ seront arrêtées à part par consultation ヲ seront arrê-  
tés par Proto- 4 4  
cole III

其ノ他時間ノ訂正ヲ要ス  
 「ワンワイ」ヨリⅡ(d)第二項ノ非武装地帯モ右地帯ノ受  
 領後三月間駐兵シタク右ニ關シテハ松宮大使ニモ申出置  
 キタル旨述ブ

議定書(四) 非武装地帯監督委員會設置ニハ双方共特ニ佛側ニ於テ恐  
 レヲ抱ケルガ如シ

議定書(V) 第八條(議長)ノ書キ方ヲ改メ選舉ニスベント主張ス  
 國境劃定委員會ハ必要ナルベントス但シ議長ノ問題ニ關  
 シテハ向前

第十條 双方共日本ノ調停ニ服スルコトニ付請訓ヲ留保ス

第十一條 「ゴーチエ」ヨリ「本條約ニ依リ廢止セラレザルモノハ  
 有效トス」トノ趣旨ニ書キ改メ方ヲ提議シ「ワンワイ」  
 モ之ニ賛成ス

第十二條 用語ヲ三國語トスルコトニハ双方異議ナキ候様ナルモ日  
 本文ヲ決定文トスルコトニハ双方ニ難色アリ「ワンワイ」  
 ハ三國語同等トスルモ調停國タル日本ガ日本文ニ據リ解  
 釋スルコトニ異議ナキ旨ノ聲明ヲ議事録中ニ止ムルモ可  
 ナル旨述ベ「ゴーチエ」ハ請訓事項ナリトス

第十三條 「ゴーチエ」ヨリ批准書交換ノ期限ヲ二月トスル爲ニハ  
 「シベリア」經由「クーリエ」ヲ出スコトヲ獨「ソ」ト  
 交渉アリタキ旨申出タリ

議定書(四) Iノavant le...ヲ條約實施後、日トス(以下全  
 部同條)引繼ノ場所ニ關シテハ研究ヲ要ス、末項削除

「タイ」佛印間國境調整ニ關スル條約案研究  
委員會（第二回）

○三月十七日午後三時ヨリ同四時二十分マデ

○帝國「ホテル」「ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者 「タイ」側——「ワンワイ」殿下、「タウエチクン」外「名

佛印 側——「ゴーチエ」「プリオンザアル」

我 方——松本局長・佐藤

(一)「タイ」佛双方トモ未タ本國政府ヨリ同訓來ラス又佛印側ノ專門  
委員モ十九日ニ非サレハ着京セサルニ付本日ハ出席者限りノ私見  
ヲ述フルニ止ムルコトトス

(二)條約名ニ付

佛側ヨリ Convention entre la Thaïlande et la France concernant

le rajustement de la frontière et le rétablissement des relations amicales  
entre la Thaïlande et la France 改メシコトヲ提案シタルカ

外 務 省

「タイ」側ヨリ條約名ハ成ルヘク簡單ナルヲ可トスル旨ノ意見出  
テ

右趣旨ヲ前文中然ルヘキ箇所ニ挿入スルコトニ決定セリ

(三)第一條ニ付

佛側ヨリ本條末尾ニ「一九二六年「タイ」佛國間通商航海條約ノ  
精神ニ基キ兩國民ノ利害關係ヲ紛争前ノ状態ニ維持スル」旨ノ規  
定ヲ追加センコトヲ提議シ

「タイ」側之ヲ受諾ス

尙本條末尾ノ「Indochine Française」ヲ la France ト改ムルコトト

セリ

(四)第二條ニ付

佛側ヨリ追テ對案提出ノ管

(五)第四條ニ付

「コン」「コーン」兩島ノ共同管理ニ付テハ前回同様双方ニテ難

外 務 省

色ヲ示シ特ニ監督委員會ノ管理下ニ置クコトハ全く無意味不可解  
ナリト述フ

内第五條ニ付

第一項初ヲ Les ressortissants Indochinois, habitant les territoires

ト改メ末尾ニ pour eux et pour leurs familles ヲ加フ

外第七條ニ付

外務省

(H) 本標準規格 B5)

S 1.4.6.1 - 4

(a) 武装地帯ニ關シ  
佛側ハ佛印側ノ設置スヘキ非武装地帯ハ決定的ノモノニ非スト

述フ

理由

(イ) 調停案中ニハ泰側ニ割讓セラレタル地域ニ關スル非武装ニ付  
テノミ規定アリ

(ロ) 調停條項附帶諒解事項(四)ハ將來ノ紛争防止ニ關シ非武装地帯  
ノ設定ヲ考慮スヘキ旨ノ諒解ニ過キスト解釋ス又佛側ノ非武  
装地帯設定ニ付特ニ何等明記ナシ

(ハ) 議事録中ニ「佛側ニ於テモ非武装地帯ヲ設定センコトヲ勸告  
ス」トアリ右ニ依リ佛側ハ非武装地帯設定ノ義務ヲ負ヒタル  
次第ニアラス

(ニ) 佛側ニ於テモ非武装地帯ヲ設定スルノ義務アル事ニ關シ「ア  
ンリ」 「ロバン」何レモ日本側委員ヨリ何等申出ニ接シ居

外務省

(H) 本標準規格 B5)

S 1.4.6.1 - 4



ラス  
右ニ對シ泰側ハ反對ス  
理由

(4) 泰側ノ非武装地帯設定ハ調停條項中ニ明記アリ從テ附帶諒解  
事項中ニ規定セラレタルハ佛側ノ非武装地帯ニ付テナリ(調  
停條項ト附帶諒解事項ト對比スレハ右解釋ハ法律上極メテ  
當然ニシテ斯ク解セサル以上附帶諒解事項ノ非武装地帯ノ設  
定ハ無意味トナルヘシ)

(4) 議事録中ノ「勸告」ナル字句ハ「テリカテス」ノ用語ニシテ  
之ヲ以テ佛側カ非武装地帯設定ノ義務ヲ負ヒタルモノニ非ス  
トハ解シ得ス

(5) 南洋局長ハ調停條項「バラフェー」ノ當日二回ニ亙リ此點ヲ  
「ワンワイ」殿下ニ「コミット」シタリ

右ニ對シ松本局長ハ調停條項ノ非武装地帯ハ compensation

外務省

(日本標準規格B5)  
S 1.4.6.1-4

136

ノ意味ヲ有スルニ對シ附帶諒解事項ノソレハ prevention de  
conflict  
ヲ目的トスルモノニシテ調停國ノ考ニ依レハ後者ハ  
佛側ノ非武装地帯設定ヲ意味スルモノト解ス此ノ點ニ付テハ松  
宮大使ヨリ「ロバン」ニ話濟ノ事ト諒解ス(右ニ對シ「ゴーチ  
エ」ハ斯ル話ハ何モ聞キ居ラスト駁ス)ト述フ

本件ニ付テハ本國政府ノ回訓ヲ待ツコトトシ結局何等一致セル  
意見ヲ發見シ得ス

(b) 非武装地帯監視委員會ニ關シ  
「タイ」側ハ別段異存ナシ

佛側ハ從來存在シタル非武装地帯ニ關シ何等ノ問題モ發生セサ  
リシコトヲ指摘シテ委員會設置ノ必要ナカルヘキヲ述フ

松本局長ヨリ右ハ帝國カ本件條約ノ保障者トナリタル以上當然  
ニシテ且必要ナルコトヲ述ヘタルニ對シ「ゴーチエ」ヨリ「保  
障」ノ意味ニ付テ質問アリ松本局長ヨリ右ハ法律上自明ノ語ニ

外務省

(日本標準規格B5)  
S 1.4.6.1-4

137

シテ「アンリー」大使ノ提案ニ基キ規定シタルモノナルコトヲ  
述ヘタルモ「ゴーチエ」納得セス結局何等ノ一致點ヲモ發見シ  
得ス

(ハ) 第十一條ニ付

前回ノ意見通り本條末尾ヲ qui seront compatibles avec... seront  
maintenues et demeureront en vigueur

ト改ム

(ニ) 撤退及移讓ニ關スル議定書ニ付

佛側ヨリ本件ニ關スル監督委員會ハ設置ノ必要ナカルヘク寧ロ  
其ノ設置ナキ方事務ノ簡便ヲ計リ得ヘキ旨述ヘ「タイ」側ハ何  
等ノ意見ヲ述ヘス

次回ハ三月二十日(木)午後三時ヨリ「ワンワイ」殿下ノ室  
ニテ續行ノ事ニ決セリ

外務省

極秘

「タイ」佛印間國境調整ニ關スル條約案研究委員會(第三回)

○三月二十日午後三時十分ヨリ五時十五分マテ

○帝國「ホテル」「ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者 第二回ト同シ

(一)佛國側ヨリ我方原案ヲ多少修正シタル別添新案ヲ提出シ同案ニ付研究ヲ進ムル事トセリ

(二)條約ノ名稱ニ付

「タイ」側ヨリ新案ノ名稱ハ長キニ過クルヲ以テ「タイ」佛印間國境ノ調整ニ關スル條約」ナル原案ニ依ルコト然ルヘキ旨述ヘタルカ佛側反對シ決定ニ至ラス

(三)第一條ニ付

「タイ」側ヨリ「タイ」佛國間ノ外交關係ハ斷絶シ居ラサル旨述

ヘ第一項ニハ異存ナキモ第二項第三項ハ挿入ノ必要ナシト述フ

理由(イ)客年六月調印ノ不可侵條約ト同一ノ内容ヲ有スルモノナル

ヲ以テ同條約ヲ速ニ批准スレハ其ノ必要ナシ(特ニ第三項ハ同

條約ニ規定セラレアル爲第三項ヲ存置スルニ於テハ議會等ニ同

條約ヲ批准交換スルノ必要ナシトノ議論生ストノ虞アリ)

(四)斯ル規定ハ「ヴェルサイユ」條約ニモナシ

(五)第二項第三項所定ノ事項以外ニ決定スヘキ問題多ク右二項ノ

ミヲ規定スルハ不合理ナリ

(六)右二項ノ精神ハ既ニ條約前文中ニ現レ居リ改メテ規定ノ必要

ナシ

(七)紛争ノ再發ヲ豫見スルカ如キ第三項ノ規定ハ心理的ニ面白カ

ラス

(八)第二項及第三項ノ趣旨ニハ異存ナシ

右ニ對シ佛側ハ新案ノ採用ヲ固執シタルカ結局左ノ通決定ス

(イ)第二項ハ「レダクシヨ」ヲ考慮シ存置スルコト

(ロ)第三項ハ之ヲ削除シ只適當ノ形式ニテ相互的ニ保障ヲ與フル

コト

(四) 第二條ニ付

(1) La ligne medicinale de la voie de navigation principale  
La ligne medicinale du canal de navigation principale 改ム

(四) 「タイ」側ヨリ「バンテアイ、スレイ」ヲ「アンコール」ニ包含セシムル事ハ議事録作成ノ際本國政府ノ同意ヲ條件トシテ留保附ニテ贊成シタル次第ナルカ(三月十一日午前「ワンワイ」代表ヨリ齋藤局長ニ明瞭ニ申入レタル趣ナリ)本國政府ヨリ反對ノ旨訓令アリタルコト及同地ヘノ旅行ニ付便宜ヲ供與スルコトハ約束シ差支ナキコトヲ披露ス

右ニ對シ佛側ヨリ(a)「バンテアイ、スレイ」ヲ佛印側ニ留保セントスル Soole franchisee d'Extreme Orient カ非常ナル努力ヲ以テ之ヲ再興シタル(raison sentimentale) ニ依ルモノナルコト(b)同地ニハ北方ヨリノ通路ナク「アンコール」方面ヨリ赴クノ外ナキヲ以テ同地ヲ「タイ」國ニ編入スルコトハ交通上不合理ナルコト

(五) 第四條ニ付

及(c)國境豫定線上ニ村落アル場合多少ノ出入ヲ認ムルト同様同地ヲ佛印側ニ付ケルコトハ極メテ自然ナルコト(「アンコール」ヨリ十一軒ナル由)等ヲ述べ  
結局國境劃定委員會ニ對シ Recommendation 附ニテ同地ヲ佛印側ニ殘ス必要アリヤ否ヤヲ研究セシメ決定スルコトトセリ

(1) 「タイ」側ヨリ第三項ノ領事館ノ設置ハ本條約中ニ規定スヘキ事項ニ非サル旨指適シ(本條冒頭ニ condition ナル文字アル處領事館ノ設置ハ condition ニ非ス)同領事館ハ住民ノ任意退去等ニ依リ住民ノ國籍カ決定シ佛人ノ増加ヲ見タル上ニテ開設スルコト可然旨述フ  
右ニ對シ佛側ハ同地領事館カ千九百七年迄存在シタル事ヲ述ヘテ原案ヲ固執シ且後記(四)ノ佛國籍留保ノ宣言ヲ受付クル爲ニモ必要ナルコトヲ述ヘタルカ

結局同領事館へ après la remise du territoire

之ヲ設置ス

ル旨ノ公文交換ヲ行ヒ本條約中ニハ規定セサル事トヌ

(ロ) 住民ノ國籍變更ニ付「タイ」領ハ本條約ノ發効ト同時ニ住民ハ

直チニ「タイ」國籍ヲ取得シ又右ハ土民ノミナラス佛本國人ヲ

モ含ム旨述ヘタルニ對シ

佛領ハ國籍ノ變更ハ條約發効後一年(任意退去期間ノ滿了ノ時)

ナルコト及佛本國人ハ「タイ」國籍ヲ取得セサルコトヲ主張ス

右ニ對シ「タイ」領ハ割讓地域ニ於ケル「タイ」國內國民待遇

ハ佛本國人ニモ及フヘキコトヲ指摘シ又案文中 habitant ナル

文字カ佛本國人ヲ除外セザル意味ナルコト及斯ル例外ヲ認めメタ

ル國際法ノ先例ナキコト等ヲ理由トシテ反對シタルカ佛領ハ本

問題ハ「タイ」國內國民待遇ノ問題トハ全然別個ノ問題ナルコ

ト及佛本國人カ「タイ」國籍ヲ取得スル事ノ實際上不合理ナル

コト(例之任意退去期間滿了一日前ニ割讓地ヲ去リ其ノ翌々日

トセリ

歸來スレハ國籍變更ヲ免ル、カ如キ)ラ述ヘテ強硬ニ原案ヲ固執シタル結果

佛本國人ニシテ佛領國籍留保ノ宣言ヲ行ハサルモノハ「タイ」

國籍ヲ取得スヘキコト、シ此ノ趣旨ノ一項ヲ新ニ挿入スルコト

トセリ

(丙) 第五條ニ付

(イ) 第一項ニ佛本國人ハ國籍留保ノ宣言ヲ行ヒ佛領國籍ヲ留保シ得ル

旨ノ規定ヲ加フルコト、ス

(ロ) 本條第三項末尾 En ce qui concerne les biens immobiliers

以下ハ當然ノコトニ付削除ス

(ハ) 第三項 billet de banque ノ點ハ次回ニ研究ノコト

(ニ) 第六條第七條及第十條ハ次回ニ研究ノコト

只第八條ノ zone délimitée ハ凡テ複數トセリ

(丙) 第十三條ニ付

我方ヨリ別添對案ヲ提出シ必要アラハ同案ニ依ル事トセリ  
(九) 議定書案ニ付佛側ヨリ右ハ我方作成ノ原案ヲ明瞭且簡單ニセルモ  
ノニシテ單ニ Rédaction ヲ變ヘタルニ過キササル旨述フ  
「タイ」側ノ意見ニ依リ第二議定書中委員會開催ノ回數ニ關スル  
個所ノ se réunira une fois par an  
se réunire normalement  
une fois par an  
ト改ム(年一回必ス會合ノ必要  
ナキヤモ知レサルニ依ル)

尙次回ハ三月二十三日(日)午前十時ヨリ續行ノ予定ナリ

8 1,4,6.1 - 4

145

第十三條

本條約ハ批准セララルヘク批准書ハ二月以内ニ東京ニ於テ交換セララル  
ベシ但シ「フランス」國政府ハ已ムヲ得ザル場合ニハ批准ノ通報書  
ヲ以テ批准書ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニハ「フランス」國政府ハ  
出來得ル限り速ニ批准書ヲ「タイ」國政府ニ送付スベシ  
本條約ハ批准書交換ノ日ヨリ實施セララルベシ

8 1,4,6.1 - 4

146

Article 13. ( ratification et mise en vigueur )

La présente Convention sera ratifiée et les instruments de ratification seront échangés à Tokyo dans deux mois. Toutefois le Gouvernement de France pourra, au cas échéant substituer son instrument de ratification par une notification écrite de ratification, auquel cas le Gouvernement de France enverra son instrument de ratification au Gouvernement de Thaïlande aussitôt que faire se pourra.

La présente Convention entrera en vigueur le jour de l'échange des instruments de ratification.

我方カ東經一五〇、北緯二五〇、「メコン」河及o Felas 間ニ存  
スル地域ヲ提案セルニ對シ  
「タイ」側ハ右地域ハ「コン」「コーン」兩島ヲ「タイ」國側  
ニ移ス代價トシテ認ムルモノナルヲ以テ右兩島ト略同面積ニテ  
是リ日本案ニテハ廣キニ矢スト述ヘタルカ  
佛側ハ所請日本案ナルモノニ付テハ何等日本側ヨリ聞キ居ラス  
一「ワンワイ」殿下ハ同案ハ松岡大臣ヨリ明瞭ニ聞キタルヲ以  
テ佛側ニモ十分趣シ居ル旨ナリト述ブ一佛側トシテハ「スツン  
トレン」州境ヲ以テ境トスルコト最モ合理的ナリト認ムルモ右  
不可能ナレハ「スツン・トレン」ヲ完全ニ *de facto* スル必要ア  
ルヲ以テ同地ヲ中心トスル二十五村ノ圍ノ地域ヲ以テ境トスヘ  
キコトヲ提案スト述フ  
右ニ對シ「タイ」側ハ「タイ」國ニ割讓セラルル地域ハ全部非  
武裝地トナルモノナレハ海軍力官軍兵ノ必要ヲ理由トシテ廣

(七) 他ノ問題特ニ財政問題ハ次回ニ研究スル事トセリ

次回ハ三月二十四日午後三時開催ノ豫定



I. -- CONVENTION DE PAIX ENTRE LA THAILANDE ET LA FRANCE

Sa Majesté le Roi de Thaïlande et le Chef de l'Etat français,

ayant accepté la médiation amicale du Gouvernement du Japon en vue d'apporter un règlement final aux conflits armés survenus à la frontière de la Thaïlande et de Indochine française;

reconnaissant la nécessité de procéder au rajustement de la frontière actuelle de la Thaïlande et de l'Indochine française, en vue de prévenir le retour de conflits à cette frontière, et de s'entendre sur les moyens de maintenir la tranquillité dans la zone frontière,

désirant de rétablir pleinement les traditionnelles relations d'amitié entre la Thaïlande et la France,

ont décidé, à cet effet, de conclure une convention et ont nommé pour leurs Plénipotentiaires, savoir:

ARTICLE I. --

Les relations amicales sont rétablies entre la France et la Thaïlande sur la base fondamentale du traité d'amitié, de Commerce et de Navigation du 7 décembre 1937.

En conséquence, des négociations diplomatiques directes seront engagées dans le plus bref délai à Bangkok pour la liquidation de toutes les questions pendantes et notamment pour le règlement des intérêts privés qui auraient pu être affectés par les incidents désormais réglés.

極秘

「タイ」佛印間國境調整ニ關スル條約案研究  
委員會（第四回）

○三月二十三日午前十時十五分ヨリ午後〇時五十分マテ

○帝國「ホテル」「ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者 第三回ニ同シ

〔第三回會議ノ際佛側ヨリ提出アリタル對案ヲ基礎トシ研究ヲ進ム

條約名ニ付

「タイ」側ヨリ「タイ」佛國間ノ條約ハ一八九三年及一九〇七年

ノ分ハ *traite* ト稱シ一九〇四年ノ分ハ *convention* ト稱シ居ル

處今回ノ條約ハ多分ニ政治的要素ヲ含ミ居ルニ付 *traite* ト稱ス

ルコト適當ナルヘク地例 *convention* ハ *question technique ou*

*particulière* ニ屬スルモノナリト述フ

右ニ對シ佛側ヨリ今回ノ事件ハ別ニ *Etat de Guerre* ナク

*conflict armé* ニ造キサルヲ以テ *convention* トスル事可然キ旨述

修訂名

「タルモ」タイ」側ハ一八九三年ニ於テモ兩國間ノ關係ハ同様ナ  
リシコトヲ指稱シ (1) *traité* concernant le rajustement de la frontiè-  
re et le rétablissement des relations amicales (2) *traité* concernant le  
rajustement de la frontière ノ何レカニ依ルハキ旨主張ス  
双方ニテ目録ヲ面談シタル結果妥協案トシテ *convention de paix*  
entre la Thaïlande et la France トスル事ニ決定ス

(三) 條約前文ニ付

佛側ヨリ別紙甲號案文ヲ提出シ第二項 *aux conflits armés* ヲ  
*au conflit armé* ト改メテ右ニ決ス

(四) 第一條ニ付

佛側ヨリ別紙乙號案文ヲ提案シ第二項末尾 *les questions pend-*  
*antes* 以下ヲ *les questions pendantes résultant du conflit*  
ト改メテ右ニ決ス

(五) 第二條ニ付

イ「スツン・トレン」沿岸地域ノ問題

「タイ」佛印間國境調整ニ關スル條約案研究  
委員會(第五回)

○三月二十四日午後三時五分ヨリ午後五時三十五分マテ

○帝國「ホテル」「ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者 前回ニ同シ

(一)第二條ニ付

(二)第四項(「スツン、トレン」ノ對岸)ハ未決定  
加へ且 la définition théorique 又 s'il y a lieu

(三)第六項 s'efforcera ノ次ニ Le cas échéant  
イ「側提案」佛側之ヲ受諾ス

(四)同項末尾 Il est notamment convenu 以下(「バンテアイ、スレイ」

ニ關スル規定)ヲ削リ國境劃定委員會ニ對シ「バンテアイ、スレイ」

イ「ヲ佛側ニ殘ス」ハキ旨ヲ勸告スル lettre annexée  
コトニ意見一致ス



(四)第十一條ニ付

全文左ノ通改ム

Toutes dispositions des traités, conventions et accords existant  
au moment de la mise en vigueur du présent acte ni ne sont pas  
incompatibles avec les dispositions de la présente Convention sont  
et demeurent maintenus en vigueur.

(五)第十二條及第十三條ニ付

之ヲ一條ニ編メ別紙乙號ノ通改ム

(六)附屬議定書ニ付

(一)我方ヨリ議定書一、二、三ノ各號ヲ廢シ單ニ「」ニ歸スル議  
定書「トセンコトヲ提議シ「タイ」條双方承諾ス只右ニ代フルニ  
annexe 1,2,3 トスル事トス

(二)我方ヨリ議定書二及三ノ末尾ヲ別紙丙號ノ通改ムルコトヲ提議シ  
タルカ研究ノ結果第一項前半ヲ Le présent Protocole sera ratifié

Convention  
en même temps que la Convention

(イ) 我方ヨリ議定書一頁ノ委員會議止方提案シタルニ「タイ」號  
方同意シ其ノ結果W.C.ヲ前除ス

(ロ) 議定書一頁ノ末段「l'exécution des mesures」  
ト改ム

(ハ) 議定書一頁ノ終ヨリ二頁目ノ「est rédigé」ニ改ム

(ニ) 議定書一・二・三ノ終ヨリ二頁目ノ「En cas de divergence」以下ヲ夫  
夫削ル

(別紙乙號)

Article 12. (langages, ratification et mise en vigueur)

La présente Convention rédigée en langues japonaise, thaïe et française sera ratifiée et les ratifications en seront échangées à Tôkyô dans les deux mois suivant la date de sa signature. Toutefois le Gouvernement de France pourra, au cas échéant, substituer à son instrument de ratification, une notification écrite de ratification; dans ce cas le Gouvernement de France enverra son instrument de ratification au Gouvernement de Thaïlande aussitôt que faire se pourra.

La présente Convention entrera en vigueur le jour de l'échange des ratifications.

S 1.4.6.1 - 4

157

(別紙丙號)

Le présent Protocole sera considéré comme ratifié, pour la France et la Thaïlande, par la ratification de la Convention. Pour le Japon, il sera approuvé par son Gouvernement.

Le présent Protocole entrera en vigueur en même temps que la Convention.

S 1.4.6.1 - 4

158

「タイ」佛印間國境調整ニ關スル 小約案研究委員會(第六回)

○三月二十六日午後三時ヨリ午後五時四十五分マテ

○帝國「ホテル」「ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者前同ニ同シ

(一) 第五條ニ付

前同ノ研究ニ基キ佛側ヨリ別紙對案ヲ提出ス

(1) 「タイ」側ノ提案佛側ノ承諾ニ依リ第二項末尾ノ leur nationalité

d'origine 〃 la nationalité primitive française ニ改ム

(2) 「タイ」側ヨリ第二項ノ「一年」ノ期間ハ前例等ニ鑑ミ六ヶ月

トスヘキ旨本國政府ヨリ訓令アリタル旨申出テタルモ佛側短キ

ニ過クトテ反對シ原案通りトス

(3) 「タイ」側ヨリ第二項第二號ノ transfert de domicile 〃 sincère

et défini ノ要アル旨本國政府ヨリ訓令アリタルニ依リ其ノ範圍

ヲ決定スルノ要アル旨申出テ「ヴェルサイユ」條約ノ例ニ倣フ

コトトシ同號末尾ノ hors des territoires cédés 〃 en territoire français

ト改ム

(5) 「タイ」側ノ提議ニ基キ末項中 ils conserveront 〃 ils pourront

conserver ニ改ム

權問ニ於テ話合ヲ行フコトニ決定セリ  
 次回ハ三月二十八日(金)午後三時ヨリ續行ノ豫定

(内)佛側非武装地帯設定ノ件

佛側ヨリ三月二十六日午前松本局長ニ對シ爲シタルト同様ノ説明  
 (三月二十六日松本局長「ゴーチエ」會談録參照)ヲ爲シ且松岡  
 大臣ト「アンリー」大使トノ本件ニ關スル話合ノ経緯(二回話合  
 ビタルカ第一回ハ概括的ナリシモ三月十日ノ際ハ松岡大臣ヨリ明  
 瞭ニ申出アリ「アンリー」ハ重大問題ナレハ講訓スヘキ旨述ヘタ  
 ルニ大臣ハ講訓サレテハ困<sup>off</sup> record トスヘキ旨述ヘタルニ付  
 勸告ト解ス<sup>シ</sup>述ヘタルカ「タイ」側ハ右ハidée de prévention上絶  
 對ニ必要ト認ムルヲ以テ當初ノ主張ヲ繰返スノ外ナキ旨力説シ我  
 方ハ一九二六年ノ條約ノ規定ニ基キ當初ヨリ汲方ニ二十五軒ノ非  
 武装地帯設定方考ヘ居リタルモノナルカ「タイ」側カ全部非武装  
 地帯トナリタルコト及割讓地域カ廣マリタル結果現在ノ如キ規定  
 トナリタル事ヲ述ヘタリ  
 結局本會議列席者ノ權限外ノ重大問題ナルヲ以テ次回會議迄ニ全

ARTICLE 5

(changement de nationalité, évacuation)

Dès que le transfert de la souveraineté sur les territoires cédés à la Thaïlande sera définitif, la nationalité de la Thaïlande sera acquise de plein droit par les ressortissants français établis sur ces territoires.

Toutefois, dans l'année qui suivra le transfert définitif de la souveraineté, les ressortissants Français auront la faculté d'opter pour leur nationalité d'origine.

Cette option s'exercera de la manière suivante :

- 1°.- en ce qui concerne les citoyens français, par une déclaration faite devant l'autorité administrative compétente.
- 2°.- en ce qui concerne les sujets et protégés français, par un transfert de domicile hors des territoires cédés.

Aucun obstacle ne sera apporté par la Thaïlande, quelle qu'en soit la raison, à l'évacuation de ces sujets

et

et protégés français. En particulier, ils pourront, avant leur départ, disposer librement de leurs biens meubles et immeubles. Ils auront la faculté d'emporter avec eux ou de faire transporter, en franchise douanière, leurs biens mobiliers de toute nature, bétail, produits agricoles, monnaies ou billets de banque. En tout état de cause, ils conserveront, sur les territoires incorporés à la Thaïlande, la propriété de leurs biens immobiliers.



「タイ」佛印間國境調整ニ關スル條約案研究  
委員會（第七回）

○三月二十八日午後三時五分ヨリ五十分マテ

○帝國「ホテル」ワンワイ」殿下室ニテ

○出席者 前回ニ同シ

(一)「保障及政治的諒解ニ關スル日「タイ」間議定書」案ニ付我方ヨリ別紙甲號ヲ提示シ「タイ」側之ヲ受諾シ同議定書ハ決定ヲ見タ

(二)第八條（非武装ノ條件）ニ付我方ヨリ別紙乙號ノ修正案ヲ提示シタル處佛側ハ右ニ關スル佛國案ハ日本側ノ原案ニ依リタルモノナルノミナラス非武装ノ問題ハ國境劃定後ニ非サレハ完全ニハ發生セズ又其レ以前ニハ國境劃定委員會ニ於テ決定シ得ル問題ナリトテ其ノ必要ナキ旨述ヘタルニ付我方ヨリ再考ヲ約シタリ

(三)佛側非武装地帯設定ノ問題

松官大使「アンリ」大使ノ會談ヲ待ツコトトシ次回ニ讓ル

只「タイ」側ヨリ佛側非武装地帯ハ新ニ國境ノ變更シタル箇所ニ付テノミ設定スヘク舊國境ト同一ノ箇所ニ付テハ其ノ必要ナキ旨述ヘ佛側之ヲ肯定ス

（四）第四條ニ付

(1) 既得權ノ問題

佛側ニテ文字「concession, affermage et permis」トシテ可ナルモ右ニ包含セラレサル droits acquis」リタル場合ハ「タイ」側ニテ好意的考慮ヲ拂フコトヲ約サレタキ旨提議シ「タイ」側之ヲ受諾ス佛側ヨリ Il est entendu que sur toute l'étendue des territoires cédés, atteintes ne sauraient être portées aux droits acquis par les ressortissants français résultant des concessions, affermagés et permis,

existant à la date du 11 mars 1941」案ヲ提示シタルニ對シ「タイ」側ハ Il est entendu que, en ce qui concerne les

ressortissants Français, les droits acquis résultant des concessions, affermagés et permis existant à la date du 11 mars 1941, seront respectés sur toute l'étendue des territoires cédés

ヲ提案シ

右ニ決ス

(五) 我方ヨリ「レダクシヨ」ニ關スル左ノ諸點ニ關スル修正ヲ提案シ右ニ決ス

(六) 第二條第七項ノ次ニ追加スル「キ」項中 Hautes Parties Contractantes ノ Hautes ヲ削リ Parties Contractantes ノ P 及 C 凡テ大文字トス

(七) 第九條第一項末尾 dont les membres 以下及第二項初ノ mixte ヲ削ル

(八) 議定書第一項及 III des instruments de ratification des ratifications 二改ム

(九) 議定書一末文 Le présent Protocole entrera en vigueur en même temps

8 1.4.6.1 - 4

167

que la Convention

ニ改ム

(十) 議定書三末尾ノ Pour le Japon, il sera approuvé par son Gouvernement

En ce qui concerne le Japon, il sera approuvé par

le Gouvernement Impérial

ト改ム

(十一) 佛側辭去後「タイ」側ノ松本局長ニ對スル内話左ノ通

(十二) 財産移讓ノ代償ニ付

「ゴーチエ」ハ「ワンワイ」殿下ニ對シ佛側ハ道路ニ對スル代償請求ヲ放棄シ且鐵道ハ引續キ佛印側ニテ經營スル意向ナル旨述ヘタルニ付残余ノ代償問題ニ付テハ差シタル問題ナカルヘシ

(十三) 平等待遇ノ件ニ付

「ゴーチエ」ノ最モ問題トスルハ domaine public ノ點ナルニ付此ノ點サヘ解決スレハ他ハ盤谷ニ於テ圓滿ニ解決スヘシ

次回ハ不取敢三月三十一日午後三時續行ノコトニ豫定ス

8 1.4.6.1 - 4

168

甲  
號

PROJET DU PROTOCOLE  
ENTRE LA THAILANDE ET LE JAPON CONCERNANT LA GARANTIE  
ET L'ENTENTE POLITIQUE,

Le Gouvernement de Thaïlande et le Gouvernement du Japon,

également désireux de maintenir la paix en Asie Orientale,

s'inspirant de l'esprit pacifique et amical qui a présidé à l'établissement du traité du 12 juin 1940, et également animés du désir sincère de persister dans cette voie,

Soucieux d'assurer la stabilisation des relations amicales qui viennent d'être rétablies entre la Thaïlande et l'Indochine Française,

sont convenus de ce qui suit:

1.- Le Gouvernement du Japon garantit au Gouvernement de la Thaïlande le caractère définitif et irrévocable du règlement du conflit entre la Thaïlande et la France, tel

S 1.4.6.1 - 4

169

- 2 -

qu'il résulte, à la suite de la médiation du Gouvernement du Japon, de la Convention de paix entre la Thaïlande et la France du ..... 1941 et des documents y annexés.

2.- Le Gouvernement de Thaïlande accepte la garantie susmentionnée du Gouvernement du Japon. Il s'emploiera au maintien de la paix en Asie Orientale, et en particulier à l'établissement de rapports amicaux de bon voisinage, ainsi qu'au développement des relations économiques étroites entre la Thaïlande et le Japon.

Le Gouvernement de Thaïlande déclare en outre qu'il n'entend contracter aucun accord ou entente avec une tierce puissance, prévoyant une coopération politique, économique ou militaire de nature à l'opposer directement ou indirectement au Japon.

3.- Le présent Protocole sera ratifié et les ratifications en seront échangées à Tokyo dans les deux mois suivant la date de sa signature.

Le présent Protocole entrera en vigueur le jour de l'échange des ratifications.

En foi de quoi, les soussignés, dûment autorisés par leurs

S 1.4.6.1 - 4

170

leurs Gouvernements respectifs, ont signé le présent Protocole et y ont apposé leurs cachets.

Fait en double exemplaire, en Thaï et en japonais, à Tokyo, le ..... 1941, correspondant à ..... Syowa.

S 1.4.6.1 - 4

171